

2018年(平成30年)10月7日(日曜日)

# 東 京 新 聞

## JR三島駅再開発

### 施設計画で市とJV

#### 市民らに事業説明会

350人が参加

三島市のJR三島駅南口東街区の再開発事業に関する市主催の説明会が五日夜、同市一番町の三島市民文化会館であり、市民三百五十人が参加した。

施設計画について市民の意見を反映させるため、市が事業協力者のアスマチ三島プロジェクト共同企業体(JV)などと協定を締結



参加者の質問に答える共同企業体の担当者(左)と市幹部(右)＝三島市一番町の三島市民文化会館で

してから初めての開催。市とJVの担当者が事業を説明した後、質疑応答した。

「事業が赤字になっても三島に残るのか。JVがもうけたのを見て、JRが同種の事業を駅の中で展開し客をとられるリスクをどう考えているのか」との質問に、JV側は「長いスパンになる事業なので、懸念を認識しながら市、準備組合と意見交換し判断を仰いで進めたい」と応じた。

「協定解除の要件をより具体化すべきでは」との声に対して、市側は「全ての事情の明文化は難しい。政策変更などは解除要件の『やむを得ない事情』に含まれるというのが共通認識だ」と理解を求めた。「高層マンションの最上階を展望フロアにしてほしい」という要望もあった。

説明会は十二日に錦田公民館、十七日に中郷文化プラザ、二十三日に北上文化プラザでも開かれる。

(佐久間博康)